

全国学校図書館協議会、毎日新聞社主催の「第57回青少年読書感想文全国コンクール」で、市内の学校から3人が受賞しました。毎日新聞社賞(優秀賞)に松村有香さん(星野高校2年)の「鎮魂の先へ」と、吉田健一郎くん(初雁中学校

市内から3人が受賞しました

3年)の「命をつなぐ輪(サークル)の一部になれ!」が選ばれました。また、全国学校図書館協議会長賞(優良賞)に平山未悠さん(高階北小学校6年)の「私の夢、ひろがってゆけ『クジラと海とぼく』を読んで」が選ばれました。

「小学生のとき、自分の書いた作文が選ばれてうれしかった」と、文章への興味のきっかけを話す松村さん。小さいころは毎週のように図書館に通っていたとか。高校では写真部に所属し、人物撮影や写真の現像をしています。読書感想文を書くときのコツを聞くと「要点を箇条書きにしてから文章を作り上げることかな」。また、分かりやすく伝えようとするあまり、説明口調にならないように注意しているそうです。今回の感想文は、2日ほどかけて、ていねいに作りました。学校の授業では、国語のほか日本史も得意だと話す松村さん。将来の夢を聞くと「大学で国文学か心理学を勉強してから、司書の仕事をしてみたいです」。



まつむら ゆか
松村有香さん(星野高校2年)



よしだ けんいちろう
吉田健一郎くん(初雁中学校3年)

「少しずつじっくり読んだあと、下書きをしてから何度も手直しをしました」と、今回の読書感想文について話す吉田くんは少し照れくさそう。2週間ほどかけて仕上げた力作が評価されました。小学生のころはよく図書館に行き、現在もさまざまなジャンルの本を読みます。中学校では美術部に所属し、体育祭のポスターなどを手がけました。さらに、小学2年生からピアノを続けているだけでなく、休みの日には鉄道の写真を撮りに行くことも。読書や作文に加えて、音楽・美術・鉄道と興味の幅が広い吉田くん。「4月からは高校生になるので、勉強も運動も両立できるよう頑張りたい。将来は、鉄道に関係する仕事をしたいです」。

「読書感想文は、自分の成長記録のようなものだと思います」と話す平山さん。小説が好きで、毎日欠かさず本を読む小学6年生です。お気に入りの本は、何度でも読み返します。合唱団にも所属していて「メロディがきれいな童謡が好き。歌詞よりも曲を好きになることが多いです」。本を読んでいると、その内容に合わせた音楽が頭の中に流れてくることもあるそうです。また、物語を書くことが得意で、夢や日常の出来事を元に書きためた作品は、300編ほどにもなるとか。「物語をもっと制作したいし、音楽もたくさん知りたい。それに、中学生になったらバスケットボール部に入りたい」と笑顔で話してくれました。



ひらやま みゆ
平山未悠さん(高階北小学校6年)



みんなで鬼になって豆まきを楽しみました(写真上)。かわいらしい鬼も登場(写真下)。



福は～うち

立春を前にした2月3日、市内のあちこちで豆まきが行われました。中央保育園では、園児がそれぞれ手作りの鬼のお面をつけ、心の中にある弱虫鬼や泣き虫鬼を追い払えとばかりに「鬼は～そと」の大きな掛け声



とともに豆を投げました。ところが、最後に登場した大人の鬼に園児たちは大騒ぎ。最初は怖がって逃げていた子も、みんなで協力して豆を投げ、鬼を退治。最後は「福は～うち」でにっこり笑顔。



喜多院(写真左)と成田山川越別院(写真右)は、多くの人でにぎわいました。



ひとまち

ふおとニュース

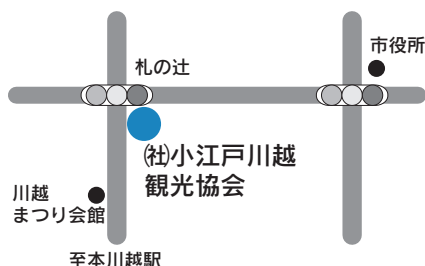
ひとまち

川越だからできる“婚活イベント”開催！

立春の2月4日、(社)小江戸川越観光協会と農政課が協力し、川越を訪れる観光客の目を郊外にも向けてもらうきっかけとして、「小江戸黒豚焼いてアツアツ婚活BBQ」を開催しました。これは、独身男女の出会いの場を提供するだけでなく、川越産の農畜産業に触れる「農業観光」という新しい観光のスタイルを知ってもらうのが目的。100人を超える応募者の中から、20歳代から40歳代の男女22人が参加しました。

当日は、自己紹介のあとグループに分かれて市内の観光名所を散策。その後、市内で作付けされた酒米「さけ武蔵」を使用して作られた地酒で「利き酒ゲーム」を楽しんだり、小江戸黒豚などの市内の農畜産物や、

地ビールに舌鼓を打ったりしました。参加した皆さんからは「こんなにおいしい豚肉があるとは知らなかった」「人数や規模がコンパクトで動きやすかった」「スタッフが盛り上げてくれてよかった」など、評判は上々。肝心の婚活も、3組のカップルが成立しました。



観光協会が事務所を移転しました

(社)小江戸川越観光協会(元町1丁目15-8 ☎227-8233)

川越まつり会館内にあった(社)小江戸川越観光協会の事務所が、左記に移転しました。利用しやすくなった新しい事務所で、訪れた皆さんにさまざまな観光情報をより積極的に発信していきます。市内を案内する市民の皆さんも、ぜひご利用ください。